

第三次長野市生涯学習推進計画 推進状況調査票

【施策1】 人生100年時代を見据えた学びの学習づくりの推進～今を充実させ、未来をひらく～

	指標項目	第二次計画		第三次計画		R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	取組の課題	今後の方向性	担当課
		現状値 (H27)	目標値 (R3)	現状値 (R元)	目標値 (R8)						
1	保健センターでの「家庭の学び講座」受講割合(受講者数/対象者)	—	88.0%	90.4%	88.0%	80.1%	88.7%	90.5%	令和2年度、3年度の実績値は新型コロナウイルス感染症の影響で低かったが、令和4年度以降は、目標値を達成してきている。今後も乳幼児健診の受診率に対する受講割合を高めていけるようにする。	感染予防に配慮した講座の開催に努め、子どもや保護者が学べる場を設定し、多くの方に安全に利用してもらえるよう努めます。	保健所健康課
2	「おひざで絵本」事業での絵本配付率	90.0%	95.0%	92.4%	95.0%	87.7%	94.1%	92.8%	新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えなどが減少したためか、配付率が大きく上昇した。目標を達成するためには、絵本配付会場である7～8か月児健康教室に参加できない家庭に対し、事業の存在や意義をさらに周知していく必要がある。	ICTを活用したり、子育て世帯を対象としたイベント等においておひざで絵本事業の紹介を行い、事業の存在や意義についての周知拡大を図ります。	家庭・地域学びの課
3	子どもわくわく体験事業補助金の交付件数	107件	120件	90件	120件	26件	35件	68件	多くの団体が活用しているが、活用していない地区があるため、更なる周知が必要である。	周知方法を工夫しながら、全地区から活用してもらえるよう努めます。	家庭・地域学びの課
4	サンライフ長野(中高年齢労働者福祉センター)利用者数			72,050人	80,000人	49,180人	51,288人	52,335人	新型コロナウイルス感染症の拡大以降に大きく減少した利用者について、令和元年度以前の水準以上の利用者を目指すべく、安心して利用できる施設環境を確保するとともに、勤労者や地域住民の学習ニーズに対応した講座等を企画していく必要がある。	新型コロナウイルス感染症の5類移行をふまえ、適切な対策を行った上で、勤労者や地域住民の学習ニーズに対応した多様な学びの場を提供していきます。	商工労働課
5	高齢者団体の市立公民館・市交流センター利用回数	3,750回	3,800回	8,536回	8,600回	7,773回	9,537回	10,721回	高齢者団体は、公民館・交流センターを仲間づくりや生きがいがづくりの場として活用している。(※H29に見直しを図り高齢者団体の定義を明確にしたため数値に変更あり)	高齢者が利用しやすい施設づくりを目指すとともに、生涯学習による仲間づくりや生きがいがづくりを通して仲間と共に活躍できる場の提供を支援します。	家庭・地域学びの課
6	市立公民館・市交流センターにおける、情報通信機器の利用に係る講座の開催数	92回	95回	71回	95回	63回	118回	177回	これまでパソコンの活用を目的とした講座を実施してきたが、スマートフォンの普及により、高齢者のニーズが変化してきた。	スマートフォンの普及によりICT活用講座や犯罪・セキュリティ対策等の講座を開催する必要があります。デジタルデバイド解消のために、庁内関係課と連携して実施します。	家庭・地域学びの課

第三次長野市生涯学習推進計画 推進状況調査票

【施策2】 市民の学びを支える体制づくりの推進～学習しやすい仕組みをつくる～

指標項目	第二次計画		第三次計画		R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	取組の課題	今後の方向性	担当課
	現状値 (H27)	目標値 (R3)	現状値 (R元)	目標値 (R8)						
1 若い世代を中心に構成される団体が市立公民館・市交流センターを利用した割合	9.9%	11.0%	7.5%	11.0%	7.5%	8.9%	8.2%	市立公民館・市交流センターでの活動を行いたいと思う市民の割合は、若い年代は低い。また、若い世代を中心に構成される団体の活動は、主に夜間や休日への傾向がある。	これまで市立公民館・市交流センターを利用することの少なかった世代が利用しやすくなるような施設運営を検討していきます。	家庭・地域 学びの課
2 市立公民館・市交流センター活動に関するSNS(ツイッター)による情報発信数	—	180	81	180	47回	56回	2回	SNSを通じての公民館・交流センター活動の発信については、フォロワー数が非常に少なく、効果的でなかった。他の手法による情報発信を検討していく必要がある。	現在の本市ホームページがスマートフォンに対応したページとなっており、統一化されたページ構成で情報発信できることや、関係する他課とも連携しての情報発信ができることから、ホームページへの掲載を積極的に行うようにしていきます。	家庭・地域 学びの課
3 生涯学習センターの利用者数	207,513人	210,000人	189,238人	210,000人	51,715人	80,129人	95,160人	市民の生涯学習を総合的かつ効率的に推進していくため、公民館・交流センターとネットワーク化を図り、モデル講座の実施や情報発信を行っていく。	中心市街地の立地を生かし、大小様々な学習室で、グループ・サークルの練習や発表、企業の会議、セミナー、講演会、展示会など幅広い用途で利用してもらえるよう努めます。また、主催事業を多数企画し、集客に努め中心市街地活性化の役割を担います。	家庭・地域 学びの課
4 一日あたりの入館者数(長野図書館)	1,164人	1,250人	1,104人	1,250人	997人	979人	1,060人	入館者の増加を目指すためには、職員体制の充実を図るとともに、慢性的に不足している駐車場問題の解決を図る必要がある。	市民に親しみを持って利用される図書館、要望に応えられる図書館づくりをめざし、各種行事の充実やサービスの充実に努めます。	長野図書館
5 「親子学級」を実施する市立公民館・市交流センターの割合	—	29館 (全館)	100%	100%	27館	28館	29館	生涯学習の推進とともに家庭の教育力の向上を図るため、親と子が参加して学ぶ「親子の学び」をキーワードとした講座を実施した。全館で計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、1館で実施できなかった。	引き続き、全館において親子学級を実施します。	家庭・地域 学びの課
6 「地域の学び講座」を実施する市立公民館・市交流センターの割合	—	29館 (全館)	100%	100%	28館 (長沼交流センター除く)	29館 (100%)	29館 (100%)	「地域の学び講座」は公民館・交流センター全館で実施しており、多くの受講者が参加している。	社会情勢の急激な変化により、地域のつながりが希薄化し、社会や地域のルールを地域が教えるといった教育力の低下が指摘されているため、「地域を知る」「地域のつながり」「地域で協力し合う」「地域で連携する」など地域に関わる講座を全館で開催していきます。	家庭・地域 学びの課

第三次長野市生涯学習推進計画 推進状況調査票

【施策3】ともに学びあう人と地域づくりの推進～生涯学習の成果を生かす～

	指標項目	第二次計画		第三次計画		R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	取組の課題	今後の方向性	担当課
		現状値 (H27)	目標値 (R3)	現状値 (R元)	目標値 (R8)						
1	市有ホール施設の利用者数	277,372人	535,000人	359,572人	458,000人	237,929人	321,600人	356,562人	新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置付けられたことにより、感染拡大前の水準まで回復したが、今後さらなる利用促進を図る必要がある。	長野市芸術館を拠点とした多彩な文化芸術の鑑賞機会の提供や、市民の自主的・自発的な文化芸術活動を支援し、生きがいやまちのにぎわいにつながる発表機会の充実などに引き続き取り組みます。	文化芸術課
2	成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合	59.1%	65.0%	59.9%	65.0%	62.3%	60.7%	63.8%	30代・40代の勤労・子育て世代でのスポーツ実施率が低い。	スポーツに親しむきっかけを提供するため、勤労・子育て世代が参加しやすいスポーツ大会、教室、イベントの開催や支援をしていきます。	スポーツ課
3	「フレイル予防講座」を実施する市立公民館・市交流センターの割合	—	—	100%	100%	100.0%	100.0%	100.0%	他の市有施設で実施しているフレイル予防講座と、内容的に類似している講座がある。	近隣の市有施設や民間が実施しているフレイル予防講座を視野に入れつつ、フレイル予防講座を実施していきます。必要に応じて他課や民間と連携して実施していきます。	家庭・地域 学びの課
4	人権教育・啓発研修会参加者の満足度	88.8%	92.0%	83.3%	92.0%	84.8%	83.1%	90.0%	人権課題の多様化により、さまざまな人権について理解と認識を深める人権教育・啓発が求められている。 人権研修会の参加者数が減少し、かつ、若年層の参加が少なく、企業人権教育推進協議会の加盟企業数も減少している。	全市民対象の「人権を尊重し合う市民のつどい」や各地域の人権講座など、あらゆる機会を通して多様な手法による効果的な啓発に努めます。 人権研修会等にオンラインによる手法を取り入れるなど、受講者が参加しやすい環境を整えていきます。	人権・男女 共同参画課
5	国際交流コーナーの利用者数	8,909人	9,200人	8,098人	9,200人	5,682人	6,663人	8,517人	外国籍住民数の増加に伴い、日本語教室への参加者が増えているため、学習ニーズに対応していく必要がある。	オンライン日本語教室のクラスを増設し、外国籍住民の学習機会の確保につとめます。	観光振興課 インバウンド ・国際室
6	環境学習会参加者数	5,104人	5,200人	6,995人	5,500人	3,124人	3,094人	2,145人	令和2年以降コロナ禍の状況で講座の開催数、募集人員を縮小するなどの対策を実施してきたことから、全体的に講座数、参加者数が大幅に減少している。	今後も、環境教育・環境学習の機会の提供を継続します。 特に次世代を担う子ども向けプログラムの開発等を検討し、学習機会の充実を図ります。	環境政策課 (環境保全 温暖化対策 課)
7	自主防災組織が実施する防災訓練の実施率	87.1%	100%	68.9%	100%	60.4%	70.9%	77.8%	防災訓練未実施の組織に対して防災意識を醸成し、活動を活発にする支援が必要である。	地域防災力向上研修等の機会を捉え、防災訓練の実施方法等について支援するとともに、自主防災組織強化事業補助金の活用による防災資機材の整備を推進し、組織の活性化を図り目標値の達成を目指します。	消防局 警防課

	指標項目	第二次計画		第三次計画		R3年度実績値	R4年度実績値	R5年度実績値	取組の課題	今後の方向性	担当課
		現状値(H27)	目標値(R3)	現状値(R元)	目標値(R8)						
8	読みがたり・朗読ボランティア養成講座参加者数	32人	50人	76人	80人	76人 (長野図書館24人／南部図書館初級31人・中級21人)	67人 (長野図書館0人／南部図書館初級37人・中級30人)	62人 ・長野図書館初級26人 中級21人 ・南部図書館上級15人	長野図書館 受講者のレベルに合わせた養成講座を企画することが必要である。 南部図書館 受講者にもよるが、受講自体が目的となり、ボランティア活動につながらないことがある。 託児所が設置できないため、乳幼児の保護者が受講を断念していることがある。	長野図書館 引き続き、読みがたりボランティア養成講座を開催するとともに、活動の場を提供します。 南部図書館 ボランティアの朗読技術の維持・向上のため、「学び直し」を受け入れていきます。 また、講座受講後の活動の場を提供していきます。	長野図書館 南部図書館
9	市立公民館・交流センターの講座における地域住民が講師を務めた講座の割合	37.2%	38.5%	28.4%	38.5%	32.0%	35.4%	38.8%	市民ニーズが多岐にわたるため、講座を企画した際に引き受けてくれる講師が地元にはいないことが多い。	地元の講師を活用し、講座で学んだ受講者が次の講座では講師になるなど相互に教え、いつでも、どこでも学び合える環境を支援します。	家庭・地域 学びの課